

資料室便り

交通専門図書館
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

新着書棚から (新しく受け入れた資料の紹介)

『MaaS 日本版：開発・活用と地域活性

— 国の推進施策と自治体・交通事業者・地域の連携、プラットフォームの構築・実装』

吉田樹編著、城福健陽、藤垣洋平、阿部政貴、牧村和彦著／地域科学研究会発行／2019年10月／A4判／222ページ／本体4,950円＋税

日本でもMaaSの概念が普及しつつある。しかし、わが国ではフィンランド発のアプリ“Whim”に注目が集まったこともあり、サービスの検索システム構築やサブスクリプション、オンデマンド交通等を盛り込んだアプリの開発がMaaSの実現であると捉えられがちだ。本来、MaaSの目的とは都市部の渋滞や環境問題のほか、地方部の高齢者や移動困難者の交通問題を解決することである。本書は、発行所主催のセミナー「MaaSの構築・活用戦略と交通まちづくり方策」の講演内容を、地域交通政策を専門とする福島大学の吉田氏が編集したもので、国土交通省の基調講演、交通事業者等の報告、パネル討論を通して、MaaSを「何のために」構築するかを提起する内容となっている。

目次：〔基調講演〕地域公共交通イノベーション推進施策／〔報告〕MaaSの目標と実装プロセス、交通まちづくりへの展開／〔パネル討論〕日本型MaaSの構築と運用 原□

『ガイドンス インバウンド・観光法』

森・濱田松本法律事務所観光法プラクティスグループ編、荒井正児、佐伯優仁、高宮雄介、水口あい子、根橋弘之、山本義人編著／商事法務発行／2019年12月／A5判／336ページ／本体3,600円＋税

本書は、インバウンド・観光をめぐるビジネスの動向とそれに関連した法令や法律問題などついて、森・濱田松本法律事務所に所属する弁護士が執筆したものである。まず、インバウンド・観光全体に関わる監督官庁、歴史、主要な法令について整理して説明されている。また、地方創生・地域経済活性化に資する観光まちづくりについての最新動向および関連法令との関係、観光まちづくりを支える観光資源の保護と活用に関わる法令について解説されている。そして、インバウンド・観光ビジネスに関係する旅行業者や交通事業者などが遵守しなければならない法令等について、事業者別に簡潔にまとめられている。

目次：本書の概要およびインバウンド・観光ビジネスをめぐる近年の潮流／インバウンド・観光全体に関わる政策・法体系／観光まちづくりをめぐるビジネスと法律／旅行業をめぐる法律問題／宿泊事業者をめぐるビジネスと法律／移動・交通手段をめぐるビジネスと法律／集客イベントをめぐる法律問題／集客施設をめぐる法律問題／観光資源の保護と活用をめぐるビジネスと法律 古森□

新着情報 (2020年1月分)

*資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名、編著者名、発行所、発行年月

<和 書>

- 1 数字でみる北海道の運輸 令和元年版 北海道運輸局監修 北海道陸運協会 2019年12月
- 2 インフラストラクチャ (東アジア長期経済統計8) 渡辺利夫監修、梶原弘和、藤本耕士、河口和範 勁草書房 2019年11月
- 3 交通経済—The Economics of Transport ジョナサン・カーウィー編、今城光英監訳、板谷和也、河口雄司、永瀬雄一、ほか訳 成山堂書店 2020年1月
- 4 関西交通経済ポケットブック 2019年版 国土交通省近畿運輸局、同神戸運輸監理部、同近畿地

方整備局港湾空港部, 同大阪航空局監修 関西交通経済研究センター 2019年12月

- 5 物流革命 2020 日本経済新聞出版社編 同社 2019年12月
 - 6 日本の物流事業 2020 輸送経済新聞社 同社 2020年1月
 - 7 数字が語る旅行業 2019 REGION 編 日本旅行業協会 2019年6月
 - 8 ロングステイ調査統計 2019 ロングステイ財団編 同法人 2019年11月
 - 9 ガイダンス インバウンド・観光法 森・濱田松本法律事務所観光法プラクティスグループ編 商事法務 2019年12月
 - 10 京都が観光で減じる日——日本を襲うオーバーツーリズムの脅威 村山祥栄 ワニ・プラス, ワニブックス 2019年12月
 - 11 「小さな拠点」をつくる——図解でわかる田園回帰1%戦略 藤山浩編著, 豊田知世, 浦田愛農山漁村文化協会 2019年11月
 - 12 世界のコンパクトシティ——都市を賢く縮退するしくみと効果 谷口守編著, 片山健介, 齊田英子, 高見淳史, 松中亮治, ほか 学芸出版社 2019年12月
 - 13 貨物・旅客地域流動調査 平成29年度 国土交通省総合政策局情報政策課編 同省 2019年3月
 - 14 駐車施策からみたまちづくり——地域ルールの先がけ大丸有モデル 高田邦道監修, 大手町・丸の内・有楽町地区駐車環境対策協議会編 成山堂書店 2019年11月
 - 15 空飛ぶクルマのしくみ 中野冠監修, 空飛ぶクルマ研究ラボ 日刊工業新聞社 2019年12月
 - 16 船舶知識のABC [10訂版] 池田宗雄 成山堂書店 2019年11月
- <外国書>
- 17 中国交通運輸統計年鑑 2017 中華人民共和国交通運輸部編 人民交通出版社 2019年3月
 - 18 The Sharing Economy and the Relevance for Transport (Advances in Transport Policy and Planning Volume4) Elliot Fishman 編 Academic Press 2019年
 - 19 U4——Die Schöneberger U-Bahn (Berliner U-Bahn-Linien) Alexander Seefeldt Robert Schwandl 2019年
 - 20 The Modern Railway 2020 [第14版]——Directory・Review・Opinion・Reference Philip Sherratt 編 Key Publishing Ltd. 2020年

書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

『国有鉄道の将来』

木下淑夫/私家版(のちに鉄道時報局発行)/1924年

本書は、明治時代後期から大正時代に鉄道官僚であった著者が、退官後に記した論文15編を収録し、その冒頭にあたる論文が全体の標題になっている。本論文では、近い将来、陸上交通における鉄道の独占が終わり、自動車交通との共生を考えなければ鉄道経営が難しくなることを外国の経験をあげて論じている。そして、道路政策/自動車政策をしっかりと位置付け、適材適所で交通体系を整える必要性を提言している。今日の地方交通線のバス利用などの問題についてもすでに触れられている。なお、同書は国立国会図書館デジタルコレクションや復刻版などで、読者のみなさまが目にする機会もあるかと思う。 土方□

交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では、交通に関する調査・研究を目的とされている方へ所蔵資料の一部を公開しています。交通に関する各種統計や基本書などをご利用いただけます。利用方法の詳細につきましては、私どものホームページをご覧ください。

なお、閲覧をご希望の方は、電話、ファックスなどでご連絡くださいますようお願いいたします。また、現在貸出および複写サービスは実施しておりませんので、どうぞご了承ください。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室

住 所：東京都台東区上野7-1-1

郵便番号：110-0005

電話番号：03-3841-4165

ファックス：03-3841-4859

URL：<https://www.itej.or.jp/>

最寄駅：JR/東京メトロ 上野駅から徒歩3分

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳